

令和6年度 秋保かがやき支援学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (森 由美子)

研究テーマ	一貫性・系統性のある指導の在り方 ～年間指導計画を踏まえた授業実践をとおして～
研究目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部間の系統性・整合性を重視した教育実践の積み上げを図りながら、教職員間での教育課程の理解を深める。 ・職員の研修体制や学習指導における指導計画等の整備に関する校内研究を組織的、計画的に推進する。
研究内容・方法 研究計画等	5月17日：研究全体会 6月 4日：校内研修会①(学習指導記録作成に関わる内容) 6月以降：学習指導記録作成 10月24日：校内研修会②(授業実践に関わる内容) 11月26日：校内研修会③(指導評価に関わる内容) 12月18日：授業検討会(学校訪問指導) 1月以降：年間指導計画検討(教務部と連携) 2月28日：研究全体会 随時(年10回)：研究日
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	<p>学年、学部間で指導の一貫性、系統性を踏まえた授業づくりを目指し、3年計画の1年目として、特別支援学校学習指導要領や年間指導計画に沿った授業実践を行っている。</p> <p>今年度は、単元担当、教科担当教員が目標や評価規準、授業の概要等を明確にするための学習指導計画を作成し、授業実践を行った。実践後は指導に対する成果や今後に向けた課題、改善策等を指導計画に加筆修正しながら積み重ねていった。また、教務部と連携して指導の一貫性や系統性の確認、修正を合わせて行っている。なお、蓄積した記録や、確認、修正を行ったデータは校内の共有フォルダ上でいつでも閲覧できるようにし、資料を参考にしながら「計画(P)実践(D)検討(C)改善(A)」のサイクルで更なる授業改善と実践を行っている。記入した記録については、年度末をめぐりに研究研修推進部と教務部が主体となり、指導の一貫性や系統性に関わる内容について確認し、適宜学年、学部フィードバックする。それをもとに、更なる授業改善と実践を行っていき、児童生徒の生きる力の育成について探究をしている。</p> <p>今後は、蓄積した学習指導計画の一貫性や系統性についての確認と修正を行うとともに、それらを踏まえた授業改善と実践を通して、今後どの教員が指導を行ったとしても、同じ評価規準を持って指導を行い、児童生徒を評価することができるようにしていきたい。次年度以降の計画としては、校内共有フォルダ上に保存してある学習指導計画を学部、学年を超えて活用し、次年度の授業担当者が保存された各資料を確認しながら、年間指導計画や学習指導計画を修正と、再度の実践を行っていけるようにする予定である。これらの活動を継続して行うことにより、学年間、学部間の指導の一貫性や系統性を図りながら、本校独自の学習指導計画の整備を行うようにする。また、その中で児童生徒が自分らしく輝き続け、充実した生活を送るための様々な能力を高められるようにしていきたい。</p>

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。